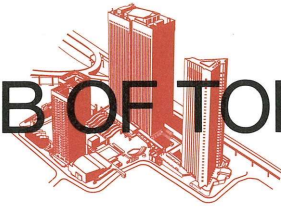




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996~97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ピセンテ・ジアイ会長

◎本日の例会 卓話「ホスピスの目指すもの」

5月23日/第512回例会

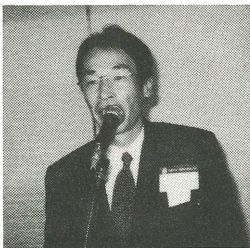
聖路加看護大学学長 東京中央ロータリークラブ会員 **日野原 重明氏**

◎先週報告

5月16日/第511回例会

回卓話「西洋美術品オークション事情——世界と日本——」

西洋美術商協会組合専務理事 **関 敬氏**



関 敬氏

回会長報告 本日は第2750地区中村ガバナーをお迎え致しました。
 回幹事報告 本年度第6回・新年度第1回クラブ協議会開催のお知らせ
 と き/6月13日(金)・例会後 13:15~15:00 ところ/東京全日空ホテルB1 八雲の間
 テーマ/本年度各委員会活動報告、新年度各委員会活動計画
 全会員のご出席をお願い申し上げます。尚、本年度各委員会委員長は「本年度各委員会活動報告書」を6月6日までに事務局へご提出して下さいますようお願い申し上げます。
 回慶事披露 ●100%出席/谷 義一君(1年) ●誕生日祝/四分一勝君(5月29日)
 回出席報告 ●会員70名・出席53名・欠席7名(出席規定免除者2名)
 ビジター(8名 敬称略・順不同)/中村健二郎(東京城西)/川澄明男(東京西)/矢野 弾(東京世田谷)/木多良輔(東京恵比寿)/柴崎芳男(東京自由ヶ丘)/浅野五郎、西山巖、島崎保彦(以上東京南)

ニコニコBOX

順不同・敬称略

5月16日/件 20,000円
本年度累計 2,271,907円
多額のご寄付を有難うございました。

矢野 弾(世田谷RC)/ホームクラブの世田谷より貴クラブの出席がよいのでお世話になります。佐々木忠行/関さん今日はお忙しいところ有り難うございます。卓話をよろしくお願い致します。渡部一元/平井さん青野さん、旅行の写真ありがとうございました。おくればやながら御礼申し上げます。谷 義一/久しぶりに皆様のお顔を拝見してにっこり。小原 健/久しぶりのニコニコです。河原勢自/川鍋さんから誠に丁寧な御挨拶を頂きました。相澤成憲/急用が出来ましたのでお先に帰らせて頂きます。川鍋二朗/ニコニコ担当です。皆様のご協力に感謝致します。柴崎さん写真有り難うございました。

◎5月本年度・新年度合同理事会議事録

と き 97年5月9日(金) 例会後13:40~15:00
 ところ 東京全日空ホテル 1F 朱鷺の間
 出席者 河原(新年度共) 青野、四分一、保森、加藤、大日方、荒木(以上本年度) 武下、渡部(以上本年度・新年度) 伊部、宮武、関、高須、吉田、梶内、吉岡(以上新年度)

決議事項

1. 国際大会(スコットランド・グラスゴー)投票代議員の件投票代議員カード(96年12月末会員76名までは1名の投票権がある)に無記名で、会長、幹事のサインをして地区ガバナー事務所へ提出することを承認。
2. 97~98年度地区ロータリー情報委員に齊藤茂之君、青少年交換委員に鍋島晴夫君を推薦

3. 出席免除規定適用の件/立林英昭君 病氣入院のため、クラブ定款第7条第3節(a)により、97年4月25日の例会から当分の間、同君の出席免除規定を適用することを承認。
4. 新会員・金光圭一会員のカウンセラーに加藤昌明君を指名。
5. 夜間例会(6/20)プログラムを承認。
6. 本年度第6回・新年度第1回クラブ協議会(6/13)次第を承認。
7. 新会員歓迎会兼96~97年度クラブ打ち上げ会(6/27)開催を承認。

報告事項

1. 幹事報告/石東嘉男君・出席免除解除(4月25日)[新年度]
1. 新年度(97~98年度)各委員会メンバー構成案の件
2. 新年度(97~98年度)行事計画案の件

◎元会長田島一郎殿ご逝去のお知らせ



当クラブのチャーターメンバーである田島一郎会員は去る5月15日 21時56分心不全のためご逝去されました。(享年81才)
 当クラブにおいては、第2代(87~88年度)会長、89~90年度第2750地区大会実行委員長、創立5周年記念行事実行委員長(91~92年度)をはじめ、数々の委員長をご歴任いただきました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。ご遺族に対して心から哀悼の意を表します。
 なお、通夜及び葬儀、告別式はそれぞれ5月19日と20日にセレモニーホール大成(横浜市青葉区青葉台2丁目)において執り行われました。

◎次回予告 卓話予定 「事故の現場に医者はいない FIRST AIDについて」

5月30日/第13回例会

株式会社サンゼン社長 東京マリーンロータリークラブ会員 **塚田 康盛氏**

クラブ会報500号記念特集

—歴代クラブ会報委員会会長による編集よもやま話し—

初代および第2代委員長 齊藤茂之 (1986~1988)

初代と第二代クラブ会報委員長を拝命いたしました。文才を認められて第二代目を頼まれたわけではなく、第一代目が10月より6月迄でしたので、たいていの役が来期もそのままに成ったように記憶しております。

一番困った事と言えば予算でした。無線電信で各クラブの予算など聞いて回りましたが、日本全国では、月5千円から20万円とばらばらでした。意味がないので近隣クラブの予算やいかにと調べると、やはり都市型クラブは沢山のお金をかけていました。新南としては会員用約30その他10、合計40部もあれば十分でしたのでワープロ制作でコピー印刷にしました。年間で5万円位で済んだように記憶しています。当時のコピー機は今みたいに良くなかったので苦労しました。

創立総会の2週間前、1986年9月19日と26日に準備例会がスタート、私達の会報もスタートしました。古い会報を見ますと、実に赤面の至りであります。

第3代委員長 吉田用親 (1988~1989)

ロータリーに入会して満2年を経ずして、会報委員長を命名された。齊藤前委員長時代に会報委員としてお手伝いしていたので概要は理解していたが、会報委員長だけは勘弁して欲しいなあ、というのが率直な気持ちであった。然し、やるしかないと聞き直して休刊することなく、無事終わることが出来た。特に神経を使ったのは、卓話の内容事項（現在は省略されている。）を毎回、耳を立ててメモをとり記事をまとめた事を思い出す。

前年度までは、ワープロ印刷のコピーで予算も30万円足らずであったが、山下会員の技報堂に特別の計らいをしてもらい、正式の印刷で写真入り、全て込みで年間50万円の超破格値で引き受けていただいた。今でも誠に申し訳なかったと思っています。

第4代委員長 大日方 真 (1989~1990)

私がクラブ会報のお手伝いをしたのは、平成元年7月からでした。ずいぶん昔になりました。その頃は、肉体的にも精神的にも元気一杯で、エネルギーがあふれ思い切り仕事が出来ました。ですから、怖いもの知らず。吉田委員長から引き継いだクラブ会報と1年間楽しめ格闘しました。武下さんに新しいヘッディングをデザインして頂いて、会報のスタイルを一新しました。今もそのスタイルが継承されています。2ヵ月に1度出した4ページ版には、今、読んでも楽しい内容が詰まっています。6月30日の最終号には、会報委員が1年を回顧しながら、ロータリーについて語り合った内容を掲載しました。若かった為に、はしゃぎ過ぎてしまい、その後何人かの方からお叱りを受けました。それもこれも今は懐かしい思い出です。

第6代委員長 関 征春 (1991~1992)

私の前の会報委員長が、故山田さんで、その頃はまだ今のように委員全体で月を担当して進めるという方法をとってなく、お一人で、一年間全てをやらせていました。これは大変な委員長を引き受けたなと内心恐れを感じ、3ヵ月前から準備に入りました。また、時の沖会長からイメージを変えてほしいということで、レイアウトを2段組みから今のフォーマットに変えたのも、この年度からです。

金曜日の例会が終わると、その日から日曜日にかけてまとめ、月曜日に印刷会社に下版し、火・水曜日で文字校正で木曜日の印刷になるとホッとした気分になったものです。それが一年間も続いたのです。特に創立5周年時の特版は、気を入れて編集したので覚えています。ですからゴルフを誘われても半分は断っていました。

やー、大変でしたが、今となってはジーンとくるような思い出になっています。

第7代委員長 青野信次 (1992~1993)

「途中より委員長に任命される。」

私は前年度幹事をやらせて頂いたので、今年のはんびりとロータリーライブを楽しもうと考えていて、ただ、なんとなくクラブ会報の副委員長をお引き受けしていた。

ところがクラブ会報委員長の齊田さんが退会なされ、思いもよらず最も忙しい委員会の一つであるクラブ会報委員長に10月頃に任命されました。心の準備もできなかったのが大分あわてた思い出がある。しかし、齊田さんの準備は万全で、又その頃には作業も順調に進んでいたため齊田さんの路線をそのまま踏襲すればよかった。特に委員が月毎に編集長となり、責任をもって編集に当る新しいやり方は、齊田さんが考えたものであり、その後の先例となった。

中途よりの委員長のため、当時の委員の方々には多大なるご迷惑をおかけしたにもかかわらず、気持ちよく御協力して頂いたことに感謝し、冷や汗を流しながらの9ヵ月間でした。

第9代委員長 川鍋二郎 (1994~1995)

93~94年度に所属して以来、来年度も含めると当委員会とは連続5年以上のお付き合いとなる。当初私は、毎回の作成過程で宮澤委員長の多大なご援助を頂いた。作業的にも心理的にも時間に追われ、例会場で週報を見るまでは落ち着かなかったものである。この委員会だけは二度とやるまい、と思った矢先に、何の因果かそのよく年度にはよりによって、委員長を務めることになった。委員長として1年間もあの心理状態を続けさせられるのは、とても耐えられないと思い、また「委員会活動には可能な限り全委員で公平に行う」という自論から、まず新しい印刷会社との打ち合わせで、従来の作業工程マニュアルを出来るだけ充実化し、それを基に各委員の役割分担とその責任範囲を明確にした。各委員の絶大なる責任感とその実行力、並びに事務局山中さんの御協力により無事一年間修了出来たことに今でも感謝している。本当によい経験になったし、大変だった中にも楽しい思い出として心に残っている。

第10代委員長 荒木昭文 (1995~1996)

会報委員会は、過去の委員経験から発行責任も重く、出来ればさげたい委員会との思いがありました。この様なロータリーアンらしからぬ不謹慎な考えに、きっと神様が懲の指名をされたものと覚悟して委員長をお受けした次第です。

第7代以降、委員会の運営も委員全員の輪番制となったり、卓話のテープの原稿起こしがなくなったり等々、年々会報発行作業が楽に短時間で出来るようになっていっています。決して重荷となる委員会ではなく、編集を担当しますとクラブ活動の全体が理解できましたことから、特に入会三年前後の会員には貴重な経験だと思います。また、会報編集には常々多くの委員会が積極的に出稿を頂けること、事務局の多大の協力連携作業に感謝申し上げます。

第11代委員長 山下忠治 (1996~1997)

当年度は昨年10月に千代田区分IM (Intercity Meeting)、12月に創立10周年記念行事と大きな行事があり、今年に入って1月はポール・ハリス没後50年、さらに2月に第500回例会、本号の500号記念など例年になく賑やかな年度でした。それぞれ特集号を組んだり特別記事を掲載したり、楽しい紙面づくりができたと思っています。生来怠け者の私を支えて頂いた委員会の皆様に感謝申し上げます。また、事務局の山中さんには編集や紙面の化粧で適切なアドバイスを頂き、感謝申し上げます。

(付記)

第5代委員長山田順則君(死去)および、第8代委員長宮澤博君は退会しているため掲載されていません。

東京新南ロータリークラブ

会長：河原勢自 副会長：保森 登 幹事：荒木昭文

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎

(編集担当順)